

## 山 行 報 告 書

山行報告提出者 : 鈴木

山 域・山 名: 硫 黄 岳 (2,760m)		長野県茅野市
入山日: 2021年12月29-30日 (水-木) 1泊2日 帰宅日: 12月30日		
プラン担当者 正: 鈴木 副:		写真無し
参 加 者	L: 報: 記: 鈴木	
	男 1名、女 名、計1名	
天 候: 12月29日 晴れ 12月日30 雪 中風		
12月29日 (水)	5:30 自宅発 中央道小淵沢IC下車 美濃戸口9:00着、 9:10 美濃戸口発-10:00 美濃戸 10:20 (北沢) - 12:40 赤岳鉱泉着 (テント泊)  行動: 3h30m	
12月30日 (木)	5:30 起床-7:00 赤岳鉱泉発-8:30 赤岩の頭-9:30 赤岳鉱泉- (撤収休憩) 10:30 発-12:30 美濃戸-13:30 美濃戸口着 中央道にて帰宅  行動: 6h30m	
荒天候時のエスケープルート: 小屋泊に切り替える。横岳への縦走をやめる。		
装 備 と 食 糧	共同装備: なし 共同食: なし 車提供者: 鈴木	
	個人装備: テント、スコップ、シュラフ、エア(銀)マット、ストーブ、(寒冷ガス)、 クッカー、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、水、 テルモス、帽子(目出帽)、ゴーグル、ヘルメット、グローブ、スパッツ、 ストック、ピッケル、12アイゼン、サブザック、ツェルト、ラジオ 個人食: 食事×4 プラス予備食、行動食	
感 想	12月29日 歩き始めの美濃戸口から雪が地面を覆う。晴れて風もなくザックは 重いが快適な歩行が続く。 程よい疲労感を感じながら着いた赤岳鉱泉のアイスクャンディは大変な賑わい。 12月30日 雪がちらつき風が枝を揺らす中、出発する。 稜線の赤岩の頭に着くが、先行トレースも無くホワイトアウト状態。 山頂方向へ数百m歩を進めたものの、帰路の自分のトレースも見失う状態だった ので登頂を諦め下山する。同コースは昨年同時期に続く撤退となった。	